

こんにちは。多谷昇太（本名・能勢和義）です。当「あおむしさん」に初掲載させて頂いて以来早7年が経ちましたので紹介ページを更新しました。自称小説家・シナリオライター・詩人・歌人です。歌人の方は日本短歌協会に列されていますので一応正式に呼称させてもらってもいいと思います（市販短歌誌・短歌研究の毎年の歌人年鑑に私の名が記載されています）。

自分の作品を顧みれば作風は「反骨魂」となるやも知れませんが、俗に云う財・官・暴という世の横暴に目が塞げません。分けても「暴」は我が身でもって長期に渡る苛みを受け続けており（その経緯は拙和歌集「人生和歌集」をお読みください）、これへの反発が作品に表れることは止むを得ないことと思っています。しかしいつかはそのような陰呑な作風を脱して「人を信じ、世を信じる」ことの出来る、人間の本懐に立ち還った作風に昇華したいものと願っています。あと小説執筆においてはウルフガイシリーズでお馴染みの平井和正先生の信条である「小説は読んでおもしろいものでなければならない」に痛く賛同し、且つ氏の作品にも惚れ込んでおります。和歌の方はかの樋口一葉に勝手に弟子入りし作歌の目標としていますが、それより何より一葉自体が好きでたまりません。拙作「一葉恋慕」にそのことと次第を綴っておりますのでぜひご照覧ください。では以後もよろしくどうぞ。

【私の写真。出来るだけいいのを選んだが元々顔が悪いので悪しからず】

